

## 第54回議会報告会 ～テーマ別タウンミーティング～ [市民政策委員会]

開催日：令和8年5月9日（土）

場所：中央公民館 和室

参加人数：9人（内訳：会場参加者3人、議員6人）

【テーマ】「災害ボランティアの受け入れ体制について」

《主な意見・内容》

近年、全国各地で大規模災害が頻発しており、被災地では多くの災害ボランティアの力が重要な役割を果たしております。一方で、ボランティアを円滑に受け入れ、必要な場所へ適切に配置するためには、事前の体制整備と地域連携が不可欠であることが改めて課題として挙げられました。

特に町内会からは、

「なぜ市の活動に町内会が参加しなければならないのか分かりにくい」

「地域同士の横のつながりが弱く、情報共有が十分ではない」

といった不安や課題の声もありました。

しかし、災害時には行政だけで対応することは難しく、また社会福祉協議会だけでも限界があります。実際に被災地では、地域の実情を最も把握している町内会や自主防災組織との連携が極めて重要であることが分かっております。

知立市においては、災害ボランティアの受け入れ窓口を社会福祉協議会が担っており、災害時には中心的な司令塔としての役割を果たすことになります。

その中で最も重要なのは、被害状況の情報をどのように収集し、統一して共有するかという点です。

例えば、

- ・どの地域で支援が必要なのか
- ・高齢者世帯や避難困難者はどこにいるのか
- ・道路状況はどうなっているのか
- ・どの作業にどれだけの人手が必要なのか

こうした情報が整理されていなければ、せっかく集まったボランティアの力を十分に活かすことができません。

また、受け入れ体制には、

- ・ボランティア用駐車場の確保
- ・資機材や道具の管理
- ・受付や案内体制
- ・安全管理
- ・食事や休憩場所の確保

など、実務的な課題も多くあります。

そのため、平常時から行政、社会福祉協議会、町内会、自主防災組織などが顔の見える関係を築き、情報共有や訓練を重ねておくことが重要であると考えます。

災害はいつ発生するか分かりません。

だからこそ、「誰が何を担うのか」を事前に整理し、地域全体で支え合える体制づくりを進めていく必要があります。

以上、災害ボランティア受け入れ体制についての報告といたします